

# ニンカン・ネット通信

ニンカン・ネット  
Vol. 2  
2002.10.1

【発行】 ニンカン・ネット 〒466-0833 名古屋市昭和区隼人町19 南山短期大学内



画 坂野 恵 (21期)

いつまでもみんなでニンカンやろうよ！

ニンカン・ネットの  
三本柱  
だよ

## ★通信作ろう！

編集会議は期を越えてワイワイと楽しいよ。  
仲間募集、これからもがんばるぞ。

## ★みんなのイベント「ようこそ」

2003.5.11(日)に「ようこそPARTⅢ  
～ここですょっとひとやすみ～」決定  
南短キャンパスに集まろう

## ★体験学習 生涯学習

ニンカン卒業生による自主企画などを  
やっていけたらと思います。

## 元ニンカンスタッフ からのコメント

### ニンカン・ネットって何？

中村 和彦

ニンカン・ネットは、人間関係科が発行していた「にんかん通信」を人間関係科廃止後も絶やさず送付することによって、人間スタッフと卒業生の間、卒業生と卒業生の間がつながっていくことを当初目的にしていたと思われます。そして、学科会議において中野・グラバア先生と私が公式にサポート役として機能するよう決まりました（現在は中野先生が努力して会合に出てくださっています）。

つまり、ニンカン・ネットは人間卒業生の有志の会ではなく、全卒業生を対象にして活動を行っていく会だと考えています。要は、南山短大の卒業生の会である「南翔会」の“外郭団体”的な組織というイメージがあります。予算、運営、活動は別だけど、情報の行き来や関連性、協同性がある、人間関係科卒業生とスタッフの公式のネットワーク団体というイメージです。

人間関係科は、今の心理人間学科の学習共同体とは少し違った性格がありました。ほとんどの授業が体験学習で行われ、合宿も多く、知識教育ではなく完全に人間性教育を目指した、ある意味“すごい”学科でした。その日本唯一のコミュニティが、ニンカン・ネットの形をとりながら今後も存続していくことを、精力的に活動されている役員の皆さんに期待しています。

### できたらいいな♪

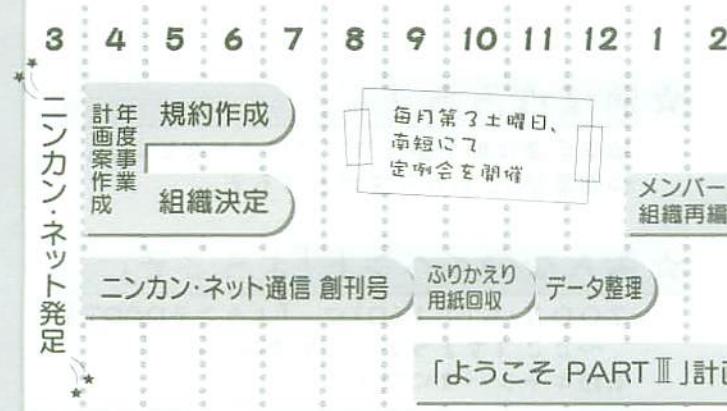
川浦 佐知子

と、まずはドラえもんの歌のような調子でニンカン・ネットでこんなことが起こったらしいな、というアイデアをいろいろ。子育て支援のサポートグループ（これは自分が今渉中にいるので）。卒業生による体験学習を使ったワークショップの実施。各種講演会の企画・運営（自分たちが興味あるテーマについての専門家を招いて）。実習集の作成など出版物の編集・作成（女性特有の体験をベースにした実習集なんてどうでしょうか？自分たちの体験も盛り込んで読み物としても楽しめるような）。季節の集い（春はお花見、夏は花火、秋は紅葉、冬はメリット・ベル・リンガーズのコンサート。お楽しみもなくっちゃ！）、ピルグリミッジ（Pilgrimageは日本語に訳すと“巡礼”ってことになってしまふのだけれど、要するに自分にとって重要な場所を訪ねること。南短や思い出深い合宿の地を訪ねてみたり、あるいは全く未知の場所を訪ねてみたり。そういう場所が与えてくれるエネルギーってあると思います）。エトセトラ、エトセトラ。

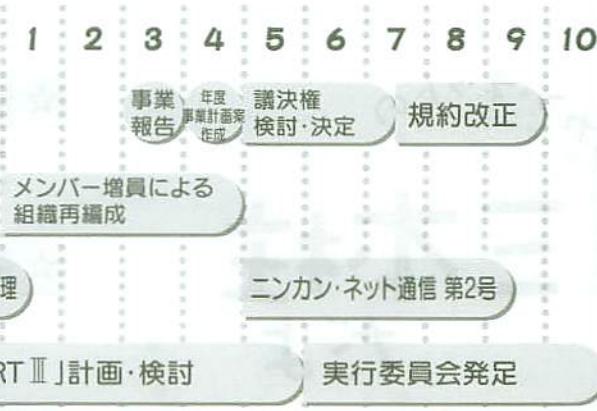
ニンカン・ネットという一つの“傘”の下にいくつもの輪が広がり、それが連携をとりあって活動していく。そんなイメージ。卒業生の皆がもつ様々なリソースがつながることでより活性化していく。そしてそんな輪の中から生まれたものを“外”へ向けて発信していく。既成の組織や団体が時代の変化に混迷する今だからこそ、ニンカン・ネットは柔軟で楽しく創造的であって欲しいな、と願う私です。

### ニンカン・ネットのあゆみ

#### 2001年



#### 2002年



【ニンカン・ネットスタッフ】伊藤雅子先生・中野 清先生・不破真弓（1期）・佐藤徳子（3期）・園木紀子（5期）・福原光子（5期）・小川けいこ（5期）・青木敦子（6期）・古山美保（6期）・諸岡千佐子（6期）・藤田嘉子（11期）・横地満由美（26期）

開催予告

## ようこそPARTⅢ

### ～ここぞちょっとひとやすみ～



2003年

# 5月11日(日)

メイン会場を南山短大、南山大学心理人間学科をサブ会場として「見学ツアー」も企画する予定です!

「ようこそPARTⅢ」実行委員会

「ようこそPARTⅢ」 URL <http://goo.gaiax.com/home/youkosopart3>

「人」手が足りないから来て」と誘われて、ほんの少し顔を出すつもりが、あれよあれよという間に「副委員長」なんていう肩書きを頂いてしまい、この原稿を書いております。

「ようこそ」とは何なのか?・・・言葉にするなら、「人間全期合同の同窓会」なのですが、普通の同窓会を想像すると軽いカルチャーショック(?)を受けるかもしれません。まだ実行委員の中でも企画・構想段階ですが、ステージでのパフォーマンス、フリーマーケット等の出店、懐かしの授業体験、そして南山大学へ移った「人間」体験ツアーも!お子様連れでも楽しめる企画も!等々盛り込んで・・・。一日ゆっくり「ようこそ、おかえりなさい」を皆で味わう催しにしたいと実行委員一同張り切っております。開催時期も風薫る五月、2003年5月11日(日)を予定しています。

人間という「巣」も築30年余り。その間、沢山の鳥達の巣立ちを見守ってきました。そして今、時期は違えど同じ巣を飛び立った私達が、沢山の仲間が集まる「ようこそ」を作るべく、また古巣に集いあれこれ話し合っております。共通点は「人間を巣立った」ただそれだけ。年齢、職業、生活リズムの全く異なる人々が集まって意見をすり合わせるというのは大変なことなのですが、そこがまた面白い。初夏の頃、そんなスタッフ皆で第3回の「ようこそ」のテーマを決めました。「ようこそ!PARTⅢ~ここでちょっとひとやすみ~」です。皆さん、来年5月には、是非懐かしの巣で、懐かしい先生方、仲間、場所と共に「ひとやすみ」して毎日動かしている翼を少しだけ休めてみませんか?

西村和恵(24期)

むかしむかしのおはなしです。

ある日、町の南の小高い山の上に『ニンカン村』という小さな村ができました。この村では長老も、若者も、隔たり無く語り合い、何か困った事が起これば、村人すべてが協力し合って良い村を作るために、夜中まででも働いたものでした。ニンカン村の

住民はそれはそれは楽しく暮らしていました。しかし、時は流れニンカン村の住民は、それぞれの道を見つけ、少しずつ村から旅立っていました。

ニンカン村が生まれて13年目、村の長老たちの考で、村を離れて行った人々をすべて集め、ニンカン村のお祭を開く事にしました。このお祭は『ようこそ』と名付けられ、その日は、遠くに住んでいるニンカン村出身者も、皆駆けつけ、村人と一緒に楽しいひとときを過ごしました。

それからまた何年か経ち、ニンカン村が、20年を迎えた時、住民は楽しかったあの祭をもう一度開こうと計画しました。『にんかんはたち』と銘打った2度目の祭『ようこそパートⅡ』は村の最長老大庭翁とメリット翁の長寿のお祝いもしました。

この2度目の祭は、ニンカン村が人々であふれ、村始まって以来の人出に住民たちは、とても驚いたものです。そして『ようこそパートⅡ』も、大盛況に終わりました。

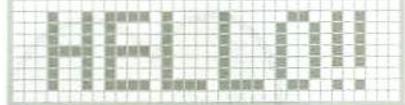
またまた月日が流れ、今、ニンカン村には一人の住民もいません。長老たちは、近くの大きな村に住まいを移しました。

ニンカン村出身者の何人かは、今、もう一度あの祭を開き、長老たちを迎えて楽しい時間を過ごしたいと、計画中です。ニンカン村は無くなってしまいましたが、ニンカン村の村人だった誇りをずっと大切にしたいために...。

田中朋子(2期)



## ネットワーク紹介



「ニンカン・ネット」の目的のひとつ、ネットワーク作り。今回のテーマは子育て。これからの人、現在進行中の人が、一段落した人。輪が広がることを願っています。一人で抱え込まず、みんなで育てていこう！

**夫** の仕事の都合で、小学校4、5、6年、中学校のまるっと3年間、それぞれオーストラリアの現地の学校に通うことになった娘達。日本に帰国して1年半足らず、今は高2と中2になりました。さぞかし英語は話せるようにならうでしょう。と、まわりからはプレッシャーがかかりますが、ちょっとそれは置いておきましょう。



今や小学生も携帯電話を持つ時代、パソコンだって、ゲームだけでなく幅広く生活の中に浸透してきていますよね。我が娘達も、オーストラリア在住中にしっかりパソコンのお世話をになりました。現地では、日本より早くパソコンは子供たちの生活中に入り込んでいて、その教育(?)は幼稚園から始まります。教室に1、2台置いてあって、小さな子供たちはもちろん遊ぶことからその使い方を学びます。小学校では各自が自分のフロッピーを持ち、授業の中で使います。その頃には、ほとんどの子供達が家に自分のパソコンを持ったり、ホームページを開いたりしています。そして中学になると、宿題にはパソコンは欠かせなく、インターネットを使い調査し、自分の考えをまとめ、きれいにプリントアウト

し、仕上げなければなりません。なぜか手書きのレポートでは低い評価しかもらえないのです。パソコンを自分達が必要とする範囲で使えるようになったのは良かったのだけれど、ふと「これ以上、コンピューターは進まなくていいと思う。私は、メールより手紙をもらったり、書いたりする方が好きだし…。」と言った娘の言葉になんだかホッとしました。そうだよ。いろいろな事がコンピューターにおまかせになる時代ですもの。あえて、アナログなところを大事にしたいね。「手をかける。心をこめる。」そんな気持ちを持ったまま大人になって欲しいと願っています。

多治見市 6期 伊藤由美恵さん

**大** 阪市旭区に暮らして3年半になります。花博の会場の近く、と言えばお分かりになりますでしょうか？名古屋市で言えば、北区・西区あたりのかんじです。そんな下町で、濃い～付き合いの中、5歳と2歳の子の子育てをしています。

大阪的といえば自転車。20代前半のかわいいお母さんが、大人用三輪車に子供を4人乗せて爆走していました。前後に子供を2人乗せた3人乗りプラス、ハンドルとサドルの間に子供を立ち乗りさせた『4人乗り』なる荒業（私の友人2人が只今現役。3人以上子持ちの必殺技）や子供いすに乗せられへん月齢2ヶ月から6ヶ月くらいの赤ちゃんを、おんぶ紐でくくって、おんぶか抱っこして自転車をこぐという体力勝負技をしてはったり…一方通行が多い、道も狭い、駐車場も少ない、坂は橋以外にはない。自転車に勝るものなしなんです。私も前後2人子供を乗せて、旭区内を走り回っています。

少子化と言われてますけど、私の周りでは無縁の話です。初めのマンションも、今のマンションも、長男が通っている幼稚園も何故か子沢山の方が多く、「一人っ子だと肩身狭いわ～」と、一人っ子のお母さんが嘆

いてはりました。（そのお母さんは現在双子を妊娠中。一気に3人の子持ちにならります…）これだけ子沢山やと、1人で面倒見きれませんし、だいたい毎日、どこかの家、マンション下の公園で集まっていたり、買い物代行したり、洋服や制服をまわしたりして、協力しあっています。カレーを作ろうと思ったらタマネギがてきて、慌ててマンションの誰かに融通してもらったなんて話には事欠きません。ご主人が出張で泊まるなんて事になれば、夕食と一緒に食べたり、子供を寝かしつけてから大人だけで「夜の部」なんて言ってしゃべり明かしてストレス発散したり。うちの夫曰く「昔の長屋的マンションやなあ」そんな暖かい環境です。大阪でも珍しいほうやと思います。

自然はありませんが、人情はまだまだある、そんな下町子育て。残していきたいものです。

大阪市 15期 笠間由美子さん

### ある日の出来事 —自戒を込めて—

**今** から2年半程前、まだ娘が2歳になるかならないかのことである。反抗期がはじまったばかりの娘に手を焼く毎日が続いていた。どうしてもその日の内に済ませてしまいたい用事があったので、出かける支度をしている時だった。例によって娘が、何か気に入らない事があ



ったのか、突然ダダをこねはじめた。育児疲れもあって、私も気が立っていたのだと思う。なだめたり、すかしたりをくりかえすうちに、泣きやまない娘を前に、ついにキレタ！！“バカヤロー！！いいかげんにしろ！！”男言葉でどなりつけていた。

口にしながら、涙があふれた。気がつけば親娘2人で泣いていた。自分でも自分がこわかった。まだ、自分の気持ちをはっきり伝えられない子供にひどい言葉をぶつけてしまったのだ。あんなに望んで授かった子供なのに、あの一瞬、確かに私は“ジャマだ”と思っていたのだ。

近頃、自分の子供に対する暴力が、マスコミなどで取りあげられているが、あの日の私も、言葉による暴力をふるっていたのだ。

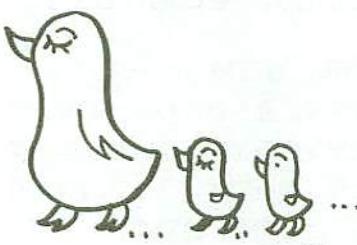
今でも、娘の寝顔を見ながら、時折り、あの日の事を思い出す。彼女の中で大きな傷にならなければいいなと願いながら。

そして、自戒している。

子育てって“親が育てられている”っていうけど本当だなと思う。

とにもかくにも“子供はカワイイ”

松戸市 5期 会田弘美さん



### 私が働く理由

**長** 男5歳、次男3歳。二人を保育所に預けて私は働いている。出産して一年間育児休暇をとった。この間ほとんど子供達と一緒に過ごした。起きている時も寝ている時もくっついていた。夫や義父母に預けて外出しても、急いで用を済ませて

帰った。帰るとすぐに自分の手元に取り戻しに言った。

だけど、仕事をやめて家にいよう。子供たちの側にいようとは、考えなかった。いつもどこかで「一人になりたい」と思っていた。

育休の終わる1ヶ月前から子供を保育所に預けた。初めはお昼まで。初めての別れにつらくて泣いた。迎えに行けば会えてうれしくて泣いた。親にとってもならし保育だった。さすがに次男の時は泣かなかつたけれど、彼が私以外を拒否した。私の姿がある時は私を要求し、身体に触れていた。だっこでは家事も何もできないのでおんぶする。さらに密着するので安心していたようだ。

1歳の誕生日から仕事に復帰した。保育所の送迎は交代制勤務の夫と義父母にまかせきり。子供達をおこしたら、すぐに出勤の時間だ。スーツを着て電車に乗るのが楽しい。辛いカレーも熱いラーメンも食べられる。なんと言っても一人で行動できるのがうれしい。

そんな私だが、帰宅の時は早足になっている。いつもの電車に乗るためにタクシーをとばす。子供達に会いたくて急いで帰る。玄関を開けると二人の「おかえり」と言う声が聞こえる。この一瞬がたまらなくうれしい。私はこの一声を聞くために仕事を続けているのかもしれない。一日離れていたから一緒にいるのがうれしい。

この秋から夫が勤めをやめ、在宅で仕事を始める。家族で過ごす時間が増えるだろう。これからもずっとみんなで一緒に笑って過ごしていきたい。

蟹江町 12期 上野美穂さん

**娘** がふたり、8歳と1歳です。下の娘の誕生は命がけのものでした。母子ともに危険な状況で、娘はなんとか産声をあげたものとなりの確立で障害が残ると言われました。チューブや装置をたくさんつ

けられた小さな赤ん坊をみて、障害があってもいい、生きていれば良い、そう思いました。子供はなんにもできなくても元気で笑っていればそれでいい、そう考えました。…その時は。

でも、すぐに忘れてしまって、こんな簡単な計算も出来ないの？！何回言ったらわかるの？！さっさとしない！おすわりして食べなさい！などなど…。毎日が同じことの繰り返しです。もっと寛大に、ゆったりとしたおだやかな気持ちで子供に接しなければいけないと思うですが、つい…。日々反省です。

子供たちは目を見張る速さで心身ともに成長していくのですが、私はなかなか成長できずにいます。子供のしぐさ、言葉使いがあまりにも自分に似ていてドキッさせられることも多いです。そういう部分はたいていの場合似てほしくないところで、自分を見直すきっかけになります。子育てしつつも、良い大人、良い親になるように子供に育ててもらっているのだと感じます。

これから先、どんな世の中になるのか、どんな道を選んで進んでいくのか親としては不安でいっぱいです。でも、今健康に元気に走り回っているふたりの娘の生きる力を信じてできるだけ手を出さないように見守っていきたいと思います。

(上の娘の夢は3歳の頃に南短に遊びに連れて行ったときに抱っこしてもらった『つんつんの大学に入って、宇宙飛行士になる』ことだそうです。夢が大きくて羨ましい…)

上尾市 13期 船木智佳子さん



今、私には5歳と3歳の息子がいる。1年半前に転勤で東京から仙台へ来た。でもすぐに子供を通じて友達もでき、こういう時、子供がいて良かったなあと思う。

ところで、先日こんな噂を聞いてびっくりした。

「この地区の小学校は、のびのびしていいけれど、転勤で東京へ帰ると落ちこぼれになっちゃうって。」

私も上の子が来年から小学生なので、少し心配になった。今住んでいる地域は、仙台でも割りとのんびりしている所だが、転勤で来ている人も多い。だからそんな話も出てきたのだろう。

確かに、東京の友人達の、子供への熱心さには感心してしまう。周りがそうだから、1人のんびりとはいられないみたいだ。幼稚園児でもいくつもの習い事や、小学低学年でも塾は珍しくないそうだ。

でも、じゃあうちの子もとは思えず、何となくそのままいる。友達と楽しそうに遊ぶ子供の姿を見て、今はまだこのままでいいかなと思うからだ。

それにしても、少し前までは、子

供2人相手に毎日過ごすだけで精一杯だったのにな、それだけ子供も大きくなつたんだなあとしみじみ思った。そして、これから子供の成長も、楽しみなような寂しいような、自分はどうなっちゃうのかなと少し怖いような気もした出来事だった。

仙台市 15期 井上雅子さん

### 立てば歩めの親心…かなあ～

**親** 業という言葉はもう何年前に流行った言葉でしょうか?

私はすでに23年やってるベテランです…( ^ ^ ; ) …長男長女(二卵性双生児)が昭和54年生まれの23歳大学4年生と社会人1年生、二女が19歳大学1年生だから。。

子育てというテーマよりは、話題は…自分探しとか、介護とか、健康に興味は移行中かしら。。

もう自分の事は自分でこなせるはず? ?? …肉体的にも精神的にも自立した子等を見るにつけて、もう見守る事しか出来ない寂しさと安堵感を幸せに思っています。。

唯無心に頼ってきた時代～自我に目覚めた何度かの反抗期(子等によつ

て違ったよね、期間も幅も… ) ~ある時は真剣に、ある時は投げやりになる子等と供にその時を共有しながら、同じように泣き、叫び、怒り、喜び、笑い…あ～早く開放されたい…自分の時間が欲しいと思ったものです。。

振り返ると早いもので…よく先輩から「今を楽しまなさい」「二度と出来ない経験よ」…って言われてもねえ～なんて愚痴りながら子育てしていた私も、今やはり同じことを考えています。。

ホントありがとう、あなた達の親になれて…楽しかったよ、無心になって、あんな事やこんな事経験できて…いろんな事教えてもらったよ、全ての事に通じる、転んだら自分で起き上がる事、待つ事や耐える事などを。。

あとは健やかに…親の苦は形を変えるだけでというけれど…あなた達を「ガンバレ!!」と、ずっと見守っているからね。。

名古屋市 1期 不破真弓さん



♪ドー

## がんばっている人 Pick Up

### この指とまれ！

私は現在介護職について4年目です。2年半前に私自身は乳がんの手術をし、3ヶ月後職場復帰しました。いのちについて深く考えさせられる実体験をした訳で、その後人間センターの講座の「ホリスティック生命論」に参加しました。介護職にありながらも自らの生命について見つめる日々はまさに“生”感じる日々であります。

ガンと知った時“死”というより

自薦・他薦を問わず、“がんばっている人”をご紹介します。

“生”を強く考えました。死を恐れるのではなくいかに生きるかということのほうが大切。

介護について、ニンカンチックなグループワークを企画したり、語り合ったり、E-mail交換したりしませんか?

寺田佐代子(3期)

Tel&Fax 0566-24-3266

E-mail terasan@manekineko.jp

### バラ色の人生／石原 歩

2001年秋からパリ留学中のシャンソン歌手・石原歩こと野村祐美子さ

ん(6期)がCDをリリース。語学学校に通うかたわら、夜毎、シャンソンのライブに通いパリを満喫中とか。最近では、ライブハウスで歌うこともあるそうです。CDは限定販売で2000円。

問い合わせ先:諸岡千佐子(6期)

Tel&Fax 0561-53-0315

E-mail morooka@nanzan-u.ac.jp

これからも「PickUpコーナー」の情報を待ちしています。

連絡先:藤田嘉子(11期)

Tel&Fax 052-761-7580

E-mail yoshi\_fu@fb3.so-net.ne.jp

## 南山大学心理人間学科ってどんな所？

南山短大の人間が南山大学人文学部心理人間学科として新しく生まれ変わって、今年で3年目になります。私たち人間卒業生としては人間がなくなってしまい何だか寂しい気がしますが、それと同時に今の心理人間学科ではどんな事をしているのだろうと関心を持っている方も多いのではないかでしょうか。そこで南山大学で中野清先生にお話を伺ってきましたので、ここにご紹介したいと思います。

人文学部心理人間学科は、南短の人間と南山大学文学部教育学科が合併し2000年4月に誕生しました。入学定員は1学年110名で現在在籍している学生のうち約4分の1が男子学生です。4年制に変わったのは時代の流れと共に短大のニーズが少くなり、大学の構造改革が必要になったということが主な理由ですが、先生方の中にはそれ以前から、人間を4年制にしてもっと充実したものにしてはどうかという意見もあったそうです。

1年生のうちは、語学、体育以外は選択科目です。でもそれは教養科目がほとんどで専門科目は「人文学基礎演習」(昔の基礎論?)だけのようです。ここでグループ演習を体験し、学生たちは2年生以降の科目選択の参考にします。余談ですがグループを作る時、男子はやっぱりかたまるそうです。男女で反応が違うということはないそうですが2年間、女の園で過ごした私たちにとっては男の子がいるなんて何だか想像しがたいものがあります。

学生の一般的な方向としては、体験学習、実践が主となる人間関係系の科目をたくさんとる人、理論を重視した心理・教育学系の科目をたくさんとる人があり、それぞれ自分に合った科目を選択することができます。人間関係系の中には私たちにもなつかしい響きのT合宿(今は人間関係トレーニングと呼ぶそうです)、フィールドワーク、プロセス論、ボディワーク、自己開発トレーニング(昔のワークショップ)などもあれば、人格心理学、認知心理学など何やら難しそうなものもあります。いずれにしても選択科目の種類がとても多く、今の学生たちがちょっぴりうらやましい気がします。

卒業生はまだ出ていないので卒業後の進路は分かりませんが、4月のオリエンテーション合宿で新入生に将来について聞くと、約半分の学生がカウンセラーになりたいと考え、そのためか3年生になって各ゼミ(卒業論文のための研究プロジェクトをします)に分かれる時「臨床心理学ゼミ」や「カウンセリング研究ゼミ」などが大変人気だそうです。ただし臨床心理士になるためには大学院進学が必要で、そう簡単にはなれないようです。

南山大学のあまりの広さに迷子になりかけたり、学生の多さにびっくりしたり、中野先生のお部屋(D棟7階)からの眺めの良さにうつとりしたりの一日でした。簡単ですが、

これで少しは心理人間学科について知っていただけたでしょうか。(文責:6期 青木敦子)

## 心理人間学科の授業紹介

2年生での選択授業「実験心理学」「人格心理学」の紹介文は、心理人間学科学生の作成冊子『こころ』からの抜粋です。

### 実験心理学

実証的な心理学をやる上で重要な考え方、統計学、論文の書き方の基本などが身に付けられる。具体的には2週間に1回実験を行い、その結果をレポートにまとめる。心理学を学ぶ上の1つの醍醐味が味わえる講義だと思う。

### 人格心理学

専門的な知識を身に付けることのできる授業。心理人間学科の人なら大部分の人が興味のある内容だと思う。臨床心理に興味のある人にはとってもオススメな授業。興味深い授業で先生のお話にグッと引き込まれる。具体例もあって分かりやすいですよ♪

他に学内授業として「教育心理学」「認知心理学」「臨床心理学」「教育社会学」「カウンセリング的対話」「ボディーアーク」「人間関係フィールドワーク」などが、合宿として「人間関係トレーニング」(Tグループ)「自己開発トレーニング」(ワークショップ)「自己開発セミナー」があります。

### 心理人間学科の先生が 高校生対象に授業をしています

「道草授業」「あれこれ質問箱」

- 10/19(土) スポーツの科学—技術を身につける—  
神谷俊次先生(実験心理学)「身体でおぼえる」  
寺田邦昭先生(体育学)「見ておぼえる」
- 10/26(土) 青年文化の変遷—1960年代から現代まで—  
加藤隆雄先生(教育社会学)

※お申し込み、お問い合わせは事務局(南山大学人文学部心理人間学科合同研究室)まで。

□受付時間: 月曜日~金曜日  
午前9時30分~午後4時30分

■電話: 052-832-3111 内線: 967

□FAX: 052-832-3217

■Eメール: michi-kusa@nanzan-u.ac.jp

□URL: <http://www.nanzan-u.ac.jp/JINBUN/Shinrinening/>

# ニンカン・ネット 掲示板

## ◆「メリット・ベル・リンガーズ」コンサート情報◆

活動の場も世界へと広がっている「メリット・ベル・リンガーズ」が、今年もクリスマスコンサートを開催します。清らかなベルの音色に包まれて、心休まるひとときを過ごされてはいかがでしょう。

メリット・ベル・リンガーズ演奏活動予定 (2002.11~12)

| 名 称                  | 日 程       | 場 所         | 場 所        |
|----------------------|-----------|-------------|------------|
| YYYYクリスマスコンサート       | 11/23午後   | 山手通・YYY     | 入場無料       |
| 南山短大第16回チャリティーコンサート  | 12/1 午後2時 | カトリック南山教会   | 入場料はチャリティー |
| トヨタ会館クリスマスハンドベルコンサート | 12/7 午後   | 豊田市・トヨタ会館   | 入場無料       |
| 聖ルカセンタークリスマスの集い      | 12/15午後   | 尾張旭市聖ルカセンター | 入場無料       |

☆問い合わせ先：メリット・ベル・リンガーズ担当者

増田真由美さん (21期) 電話 (090) 9176-2572

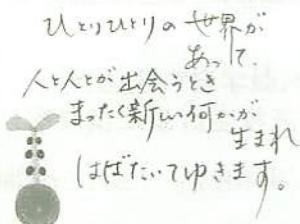
## ◆ Thanks ! ◆

創刊号にイラストを描いて下さった11期青山芳美さん、16期齊藤由紀子さん(星野先生)、26期市川育美さん(表紙)。2号とも編集に力を貸して下さった11期山下みどりさん。ご尽力頂いたにもかかわらず、不手際で創刊号にお名前を明記できなかったことをお詫びします。

今回、表紙イラストを描いてくださったのは21期坂野恵さん。挿し絵は23期佐藤美香さん。

ネットワークも多彩な方々のおかげで、少しづつ広がっていくようです。坂野さんから頂いた自筆のメッセージがニンカン・ネットの気持ちにピッタリだと思いましたのでご紹介します。

最後に印刷は(株)交友社様にご依頼しています。今後ともお付き合い頂けるようお願いしつつ、感謝の意をお伝えします。



## ◆ 編集後記 ◆

1年に1回の発行とはいえ、「やっと出せた。」というのが正直な気持ちです。第1号には、たくさんの「ふりかえり用紙」を寄せていただき、ありがとうございました。編集部一同、感謝、感激の一言です。今回は、投稿のテーマを「子育て」に絞り、「南山大学の心理人間学科」の様子や「ようこそ」の現状も取り上げてみましたが、いかがでしたか。

スタッフの住所も春日井から知多半島まであり、月1回の定例会も全員が揃うのは難しい状態でしたが、2年目の結局はなかなかのものです。期を越えたつながりをこれからも大切にしつつ、「ニンカン・ネット通信」だけでなく、さらに充実した活動につなげていきたいと思います。暖かく見守ってください。

(6期 古山美保)

## ◆ 募集します ◆

各担当までご一報下さい。

- ☆ ニンカン・ネット スタッフ募集: 不破真弓  
FAX(052)811-2148 / mayumi-k-f@mti.biglobe.ne.jp
- ☆ ニンカン・ネット通信 記事募集: 藤田嘉子  
FAX(052)761-7580 / yoshi\_fu@fb3.so-net.ne.jp

## ◆「南山大学人間関係研究センター」より ◆

南山大学人間関係研究センター(通称・人間センター)では「人間関係講座」「Tグループ」をはじめ、本年度は10講座を企画・運営しています。来年度のカタログをご希望の方は下記事務局宛ご連絡下さい。

- ☆ 住所: 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地
- ☆ 電話: (052)832-5002
- ☆ FAX: (052)832-3202
- ☆ <http://www.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

## ◆「南山短期大学コミュニティーカレッジ」◆

南山短期大学を会場として開講中の「南山短期大学コミュニティーカレッジ講座」(通称・コミカレ)には、卒業生に割引制度があります。対象者は南山学園の卒業生で、受講料の10%が割り引かれます。

次回は来年の春講座です。この特典を利用して受講してみてはいかがですか?パンフレットをご希望の方は、下記事務室までお問い合わせ下さい。

- ☆ 〒466-0833 名古屋市昭和区隼人町19番地
- ☆ TEL&FAX (052) 834-2900

## ◆「第4回日本体験学習研究会全国大会」のご案内◆

「日本体験学習研究会全国大会」も回を重ね、今年は下記の日程で第4回大会が開催されます。

毎回、様々な教育現場の人たちから体験学習の実践報告がなされます。今年は目玉企画として、ラウンドテーブルと称する、テーマ別に自由に話し合う場を計画しています。「学校教育」「環境教育」「企業教育」「看護教育」「ファシリテーターって何?」「日常にどう生きる?」など領域ごとに集まり楽しい話らしいのがとてもあります。研究会への人間の参加はまだそれほど多くはありませんが、この研究会で新たに出会った卒業生にとっては、体験学習を接点にしたもう一つの同窓会になりつつあります。また、体験学習をもう一度考えてみるとよい機会になるでしょう。

体験学習に関心をお持ちの方は、是非ご参加ください。

- ◆日時: 2002年11月23日(祝・土)、24日(日)
- ◆会場: 南山大学D棟(名古屋市昭和区山里町18番地)
- ◆参加費: 両日参加 3000円／一日のみ参加 2000円
- ◆事務局: 南山大学人文学部心理人間学科 津村研究室  
〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18番地  
TEL(052)832-3111(代)内線973(津村研究室)  
FAX(052)832-3217  
<http://www.nanzan-u.ac.jp/~tsumura/>

## ◆ようこそ PART III ◆

ようこそPART IIIについて、皆さんからのご質問にお答えします。

- Q. 記念品が欲しいのですが?
- A. 細かいことはまだ決まっていませんが、必ずご用意します。
- Q. 駐車場が欲しいのですが?
- A. うーん、ご用意は出来ません。
- Q. 屋上に上りたいのですが? 学食が食べたいのですが?
- A. この2件については、学校と相談してからまたお知らせします。
- Q. 短大や、大学近辺のお店の情報を知りたいのですが?
- A. 大学周辺マップを作って、当日配れたらなあと思っています。
- Q. 出席できないので、当日の様子をおしあげたいのですが?
- A. 会計報告と共に、皆さんにお知らせしようと思っています。

他にも何かご質問、ご要望、スタッフになりたい!等ありましたら、各期の担当者、または沼までご連絡ください。

numa624@yahoo.co.jp (23期 沼優子)